

**1. 本授業科目の基本情報**

科目名 (コード)	文書理解Ⅱ (GB)	( TGB128 )	
講義名 (コード)	TGB_文書理解Ⅱ_A	( TGB128A )	
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年	1学年
対象コース	グローバルビジネスコース	単位数	2
授業担当者	野澤 涼子	時間数	30
成績評価教員	野澤 涼子	講義期間	秋学期
実務者教員		履修区分	選択必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

**2. 本授業科目の概要**

到達目標・目的	日本語を使ったビジネスを行う上で十分な日本語力を養い、日本語能力試験N1の取得を目指す。
全体の内容と概要	N1の文字語彙文法を中心に学ぶ。試験形式と同様の4択問題を使い資格試験の対策をしっかりと行う。試験形式とは異なるが、語彙を書かせる問題にも取り組みしっかりとした定着を目指す。
授業時間外の学修	
履修上の注意事項等	

**3. 本授業科目の評価方法・基準**

評価前提条件			
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	事実や論理関係に注目して長文を読み解く力をつける。	必修パターン：長文A unit 1 パワードリルN1文字語彙
2	事実や論理関係に注目して長文を読み解く力をつける。	必修パターン：長文A unit 2 パワードリルN1文字語彙
3	心の動きや考え方に注目して長文を読み解くことができる。	必修パターン：長文B unit 1 パワードリルN1文字語彙
4	心の動きや考え方に注目して長文を読み解くことができる。	必修パターン：長文B unit 2 パワードリルN1文字語彙
5	心の動きや考え方に注目して長文を読み解くことができる。	必修パターン：長文B unit 3 パワードリルN1文字語彙
6	JLPTの読解の傾向に対応できる力を身につける。	必修パターン：対策編 第2章 unit1 短文 パワードリルN1文字語彙
7	JLPTの読解の傾向に対応できる力を身につける。	必修パターン：対策編 第2章 unit2 中文 パワードリルN1文字語彙
8	模試を行い試験に向けて実践的な力をつける。	演習・解説（JLPT模試 文字語彙） パワードリルN1文字語彙
9	模試を行い試験に向けて実践的な力をつける。	演習・解説（JLPT模試 文字語彙） パワードリルN1文字語彙
10	JLPTの読解の傾向に対応できる力を身につける。	必修パターン：対策編 第2章 unit3 長文 パワードリルN1文字語彙
11	JLPTの読解の傾向に対応できる力を身につける。	必修パターン：対策編 第2章 unit4 統合理解 パワードリルN1文字語彙
12	JLPTの読解の傾向に対応できる力を身につける。	必修パターン：対策編 第2章 unit5 主張理解 パワードリルN1文字語彙
13	JLPTの読解の傾向に対応できる力を身につける。	必修パターン：対策編 第2章 unit6 情報検索 パワードリルN1文字語彙
14		期末試験
15		期末試験 解説 & 追試

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	必修パターン読解N2 パワードリルN1文字語彙
参考文献・資料等	
備考	クラスの状況に応じて進度を変えることがあります。